

**Media
Seek**

**事業計画及び
成長可能性に関する事項**

2022年10月18日

株式会社メディアシーク

I. 会社概要

II. ビジネスモデル

1. 事業ポートフォリオ

2. ビジネスターゲット

- コーポレートDX
- 画像解析・AI
- ライフスタイルDX
- ブレインテック・DTX
- ベンチャーインキュベーション

III. 市場環境・成長戦略

1. ターゲット市場（市場規模・見通し）

2. 成長戦略／特徴と強み

3. 経営指標

IV. 事業計画

1. 2023年7月期業績予想

2. 2023年7月期以降の展望

V. リスク情報

1. 認識する主なリスク

Appendix

**Media
Seek**

I. 会社概要

I. 会社概要



**Media
Seek**



会社名	株式会社メディアシーク MEDIASEEK, inc.
設立	2000年3月1日
資本金	823,267千円（2022年7月31日現在）
代表	代表取締役社長 西尾直紀
所在地	〒108-0072 東京都港区白金1丁目27番6号 白金高輪ステーションビル
従業員数	74名（2022年7月31日現在）

**Media
Seek**

II. ビジネスモデル

善いものを世界に提供するために長期的視点で新しい事業創出を行う
現行ビジネス+新技術領域の事業化

コーポレートDX

画像解析・AI

ライフスタイルDX

ブレインテック・DTX

ベンチャーインキュベーション

現行ビジネスの規模拡大
を行いつつ
世の中を善くするための
新技術の研究を継続する

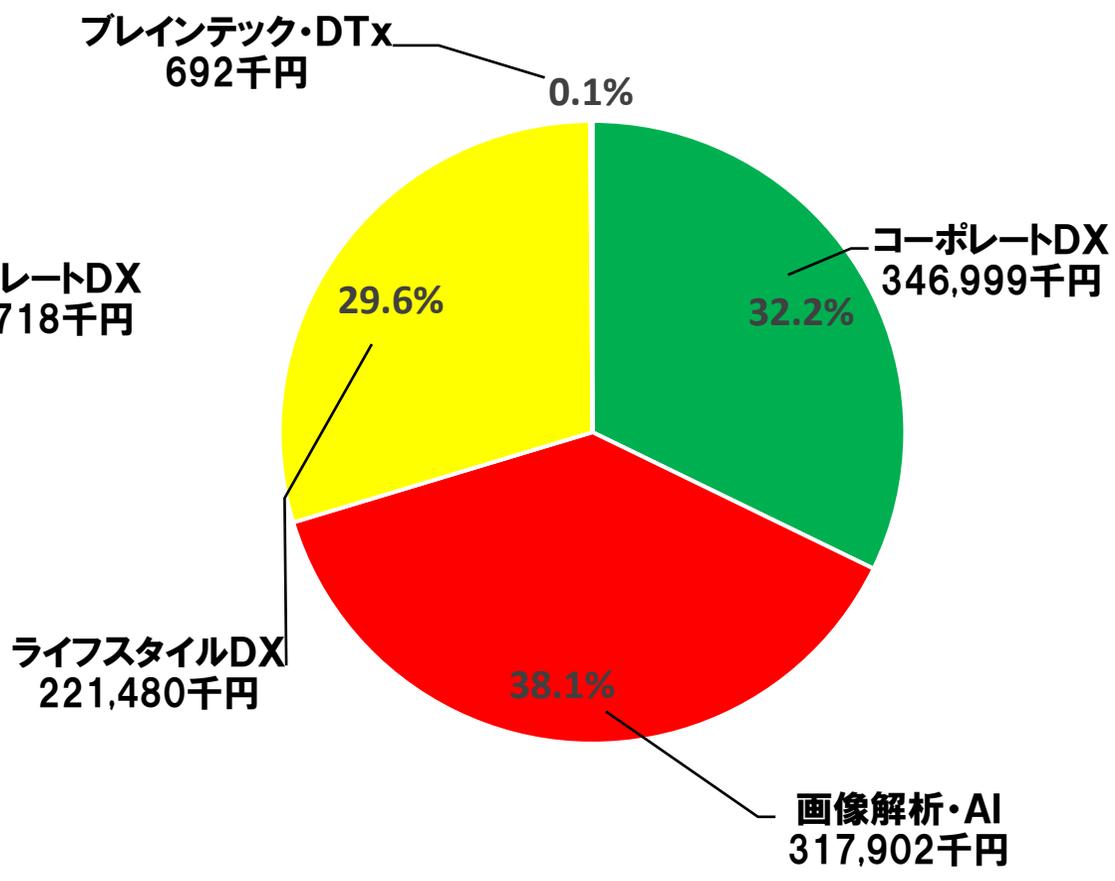
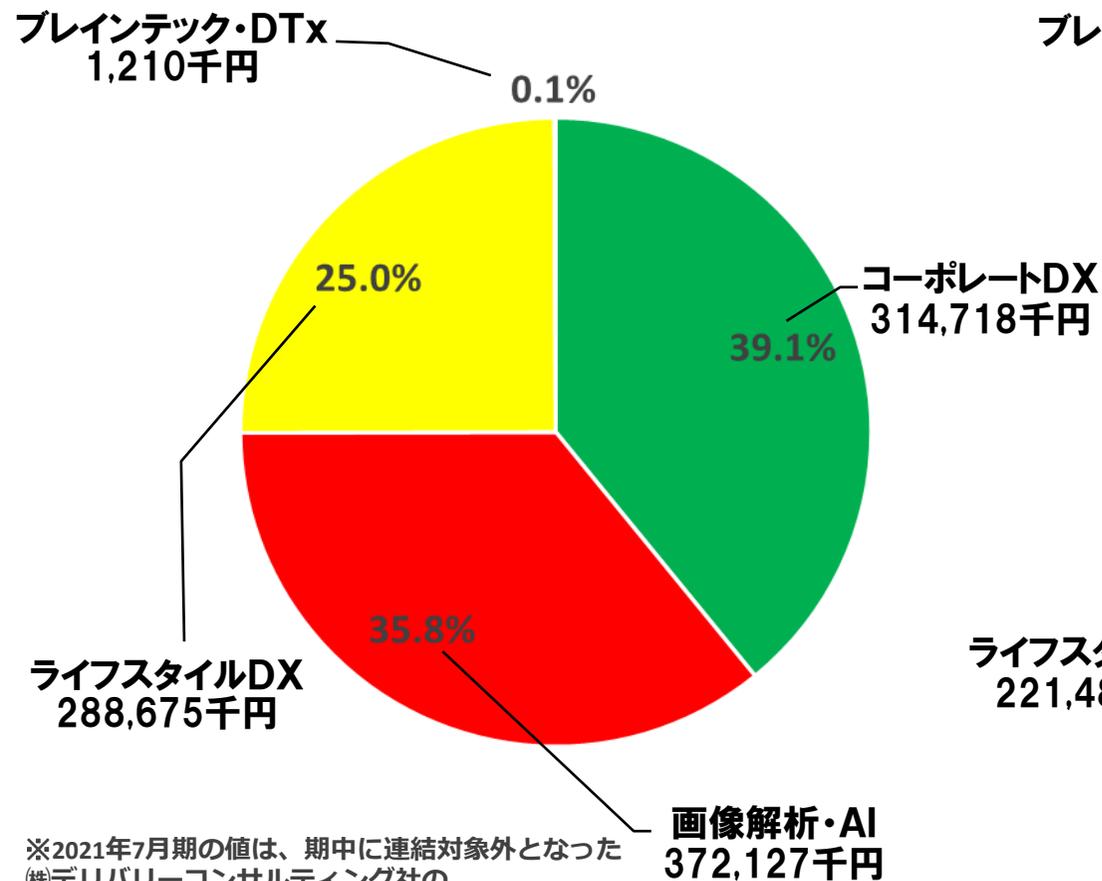
ベンチャー企業との
協業も進め常に新しい技術
領域にアンテナを張る

II-1. 事業ポートフォリオ

市場ニーズの変化にあわせ、
ビジネスターゲットとなる事業ポートフォリオも柔軟に変化

2021年7月期（売上実績）

2022年7月期（売上実績）



※2021年7月期の値は、期中に連結対象外となった
(株)デリバリーコンサルティング社の
値を除外した売上となっております。

II-1. 事業ポートフォリオ

市場ニーズの変化にあわせ、
ビジネスターゲットとなる事業ポートフォリオも柔軟に変化

2021年7月期
(セグメント利益実績)

2022年7月期
(セグメント利益実績)

単位 (千円)

300,000

200,000

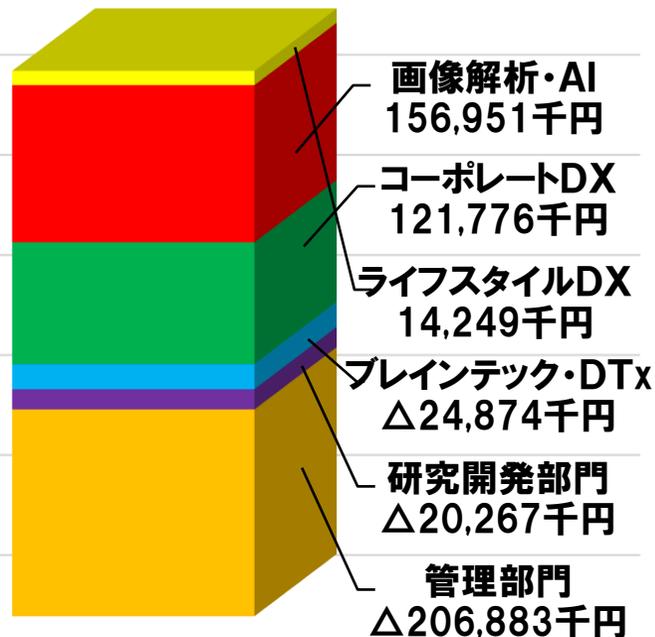
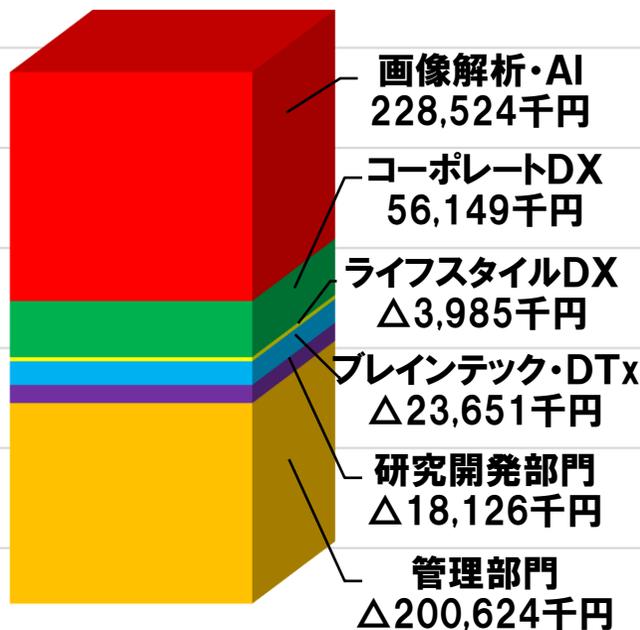
100,000

0

(100,000)

(200,000)

(300,000)



※2021年7月期の値は、期中に連結対象外となった
(株)デリバリーコンサルティング社の
値を除外した利益となっております。

■コーポレートDX ■画像解析・AI ■ライフスタイルDX ■ブレインテック・DTx ■研究開発部門 ■管理部門

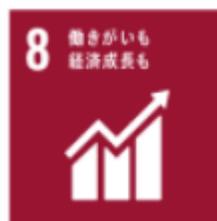
新たなポートフォリオに基づきSDGsに関する取り組みを加速

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



メディアシークは、各事業領域の強みを発揮しながら、ITの力で社会や人々の課題を解決し、SDGsが掲げるサステナブルな社会づくりに貢献してまいります。

新たなポートフォリオに基づきSDGsに関する取り組みを加速



健康管理をどこでも誰でも、 もっと身近に。

IT領域で長年培ってきたヘルスケアサービスの知見を活かし、従業員や人々が健康的に暮らせる社会の実現をサポートしています。

■ 関連する事業ユニット

ブレインテック・DTx
ライフスタイルDX

ICTですべての人に 新しい学び方を。

場所や年齢を問わず、すべての人に教育の機会を届けるオンライン教育プラットフォームを開発・提供しています。

■ 関連する事業ユニット

コーポレートDX
ライフスタイルDX

誰もが働きやすい 職場環境づくり

育児や介護など、多様なライフステージへ柔軟に対応。性別を問わず誰もが自分らしく活躍し、働き続けられるよう制度を設けています。

■ 関連する事業ユニット

全事業ユニット

継続的なICTの研究開発で 社会問題の解決を。

治療用アプリの研究開発や教育機関とのサービス開発などを通じ、さまざまな社会問題を解決する技術革新を追求する取り組みを継続的に続けています。

■ 関連する事業ユニット

ブレインテック・DTx
コーポレートDX
ライフスタイルDX

メディアシークは、各事業領域の強みを発揮しながら、ITの力で社会や人々の課題を解決し、SDGsが掲げるサステナブルな社会づくりに貢献してまいります。

システム開発・コンサルティング

SYSTEM DEVELOPMENT / CONSULTING

カスタムメイドシステムソリューション

CUSTOM-MADE SYSTEM SOLUTIONS

カスタムメイドシステムソリューションでは業務システム・大規模ECシステムなどのB向けの業務システムや、C向けのエンターテイメント向けサービスシステムなどの大型SI案件を中心に、ITコンサルティング、システム構築、システムサポートなどをお手伝いしています。



クライアント様のニーズに叶う
オリジナルシステム開発

EdTech

System
Integration

DX

web

mobile

cloud

教育関連企業、サービス業など
既存顧客のコーポレートDX支援

+

市場トレンドにあわせ新規領域を拡大

EdTechシステム構築

法人向け業務ソリューション

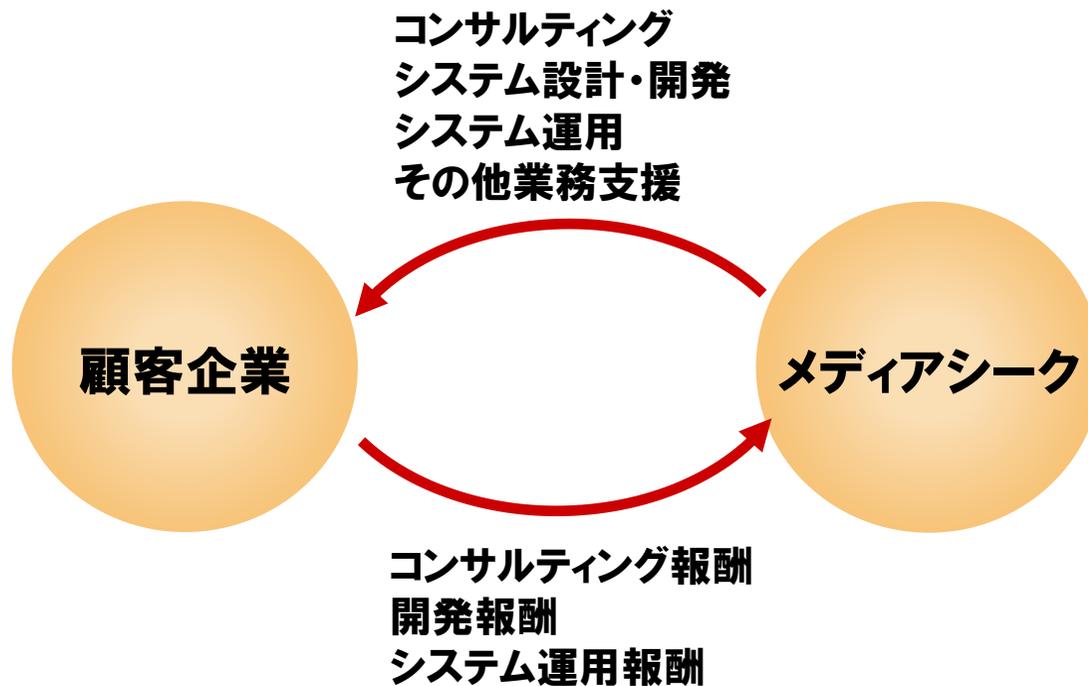
法人向けDXサポート

EdTechシステム構築のエキスパート

×

法人向けDXサポート&
業務ソリューション実績

収益モデル



顧客企業に対し、コンサルティングの上システム設計・開発、また開発後の保守運用等をワンストップに行い、その対価として受け取る報酬を収益源としております。



読み取り性能 × 使いやすさ
累計3,400万ダウンロードの実績
スマートフォン定番アプリとして浸透



アプリ「アイコニット」

- 累計3,400万ダウンロード突破
- 使ってトクするバーコードリーダー
- 主要アドネットワークと提携、安定した広告収益
- より多くの方が便利に使える新機能
安心・安全、非接触、ユニバーサル



バーコードリーダーライブラリ

- 日々の読み取り情報を機械的に分析、継続的な読み取り性能向上
- メディカル領域でのニーズ拡大
- 読み取り可能な対応バーコード拡大

ツイート分析からトレンドを予測
(株価、品薄情報など)

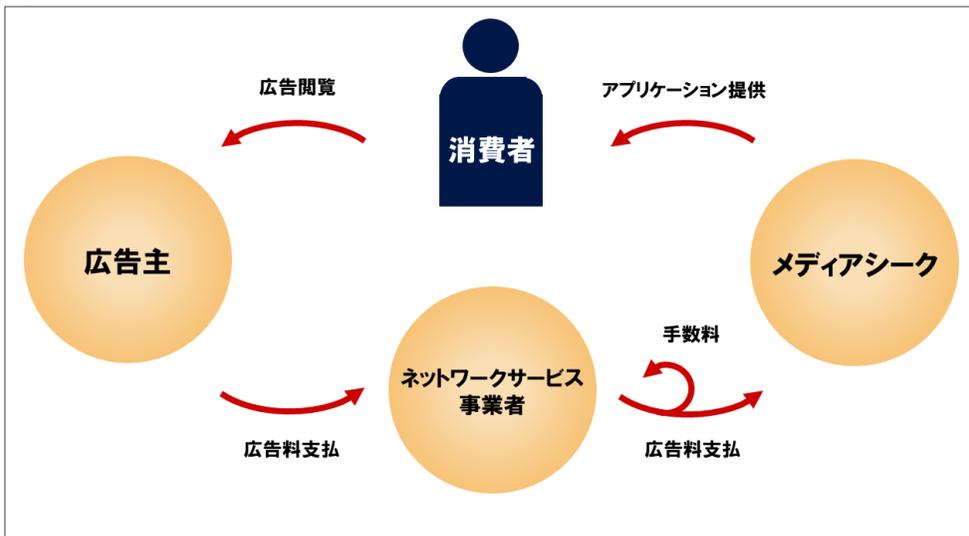


AI

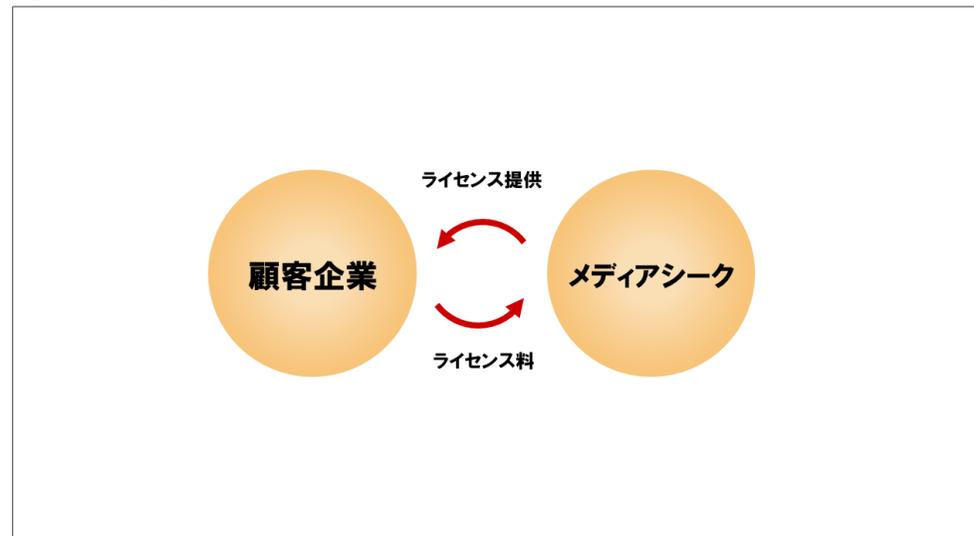
- ツイートのテキストデータからトレンドを予測
さらに感情分析、異常検知
- 読み取れないバーコード画像をAI解析
- ニューロフィードバックへの活用
- 自社サービス向け研究開発
実績蓄積しAIエンジン外部提供へ

収益モデル

① 広告収入モデル



② ライセンス料モデル



アプリケーション「バーコードリーダー/アイコンitt」の提供による広告収入や、顧客企業へのライセンス提供によるライセンス料収入が主な収益源となります。

EdTech、FanTech、HealthTech の3つのテクノロジーを中心にDX化を促進
ライフスタイルに欠かせないサービスを提供

主なブランド／サービス

Edtech



FanTech

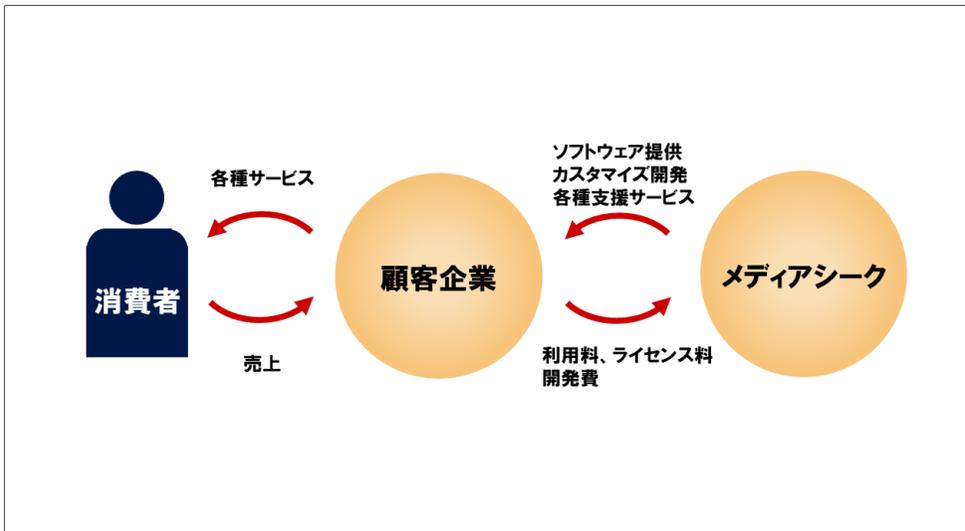


HealthTech

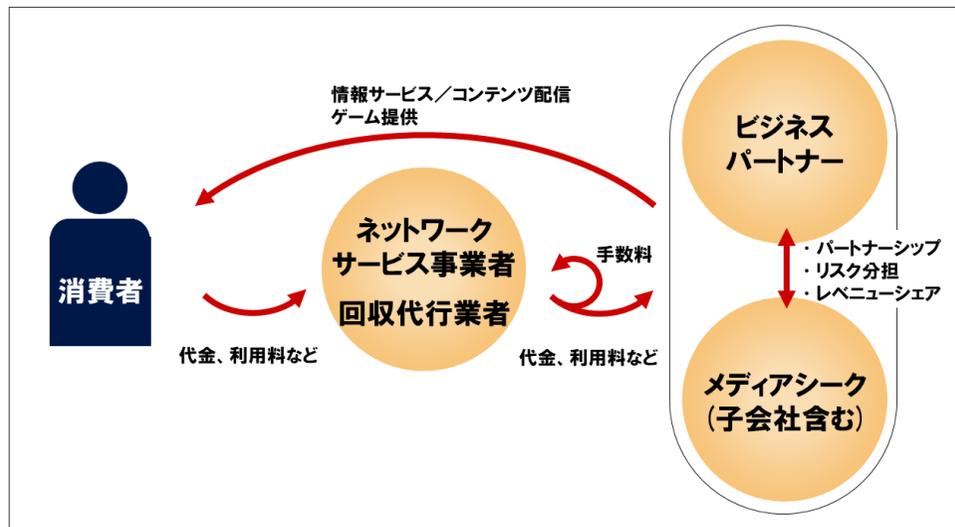


収益モデル

①EdTech



②FanTech, HealthTech



EdTechでは、独自パッケージソリューション「マイクラス」の提供や導入支援、及びカスタマイズや機能拡張に伴うライセンス料、開発料及び保守料を収益源としております。
 また、FanTech及びHealthTechは、ゲームや情報サービスなどのコンテンツ配信を行い、消費者（ユーザ）から頂く課金を収益源としております。

医療機器プログラム（治療用アプリ）の開発・製造

- ・ 日本でもDTx（デジタルセラピューティクス）の動きは活発になり、大手製薬企業がDTxの取組を開始
- ・ 製薬企業はアプリ開発能力を持たないため、IT企業とアライアンスを組む事例が増加
- ・ 豊富なアプリ開発実績を活かし、治療用アプリの開発・運用サービスを提供していく

日本のDTx代表事例

禁煙外来 / CureApp

- ニコチン依存症治療アプリ及びCOチェッカー
- 日本で初めて医療機器として承認されたアプリ
- 国立病院機構久里浜医療センターと共同研究

うつ病 / 田辺三菱製薬

- うつ病治療用医療機器アプリ開発を目指す
- 認知行動療法に基づく「こころアプリ」
- 京都大学、NCNPと契約

ADHD / 塩野義製薬

- Akili社のADHD用デジタル治療用アプリを展開
- 世界初のゲームベースの医療としてFDA取得
- 日本で薬事承認を目指して臨床試験実施中

糖尿病 / 大日本住友製薬

- 2型糖尿病の非薬物療法の医療用アプリ
- 生活習慣や指標データを入力し行動変容を促す
- Save Medical社と共同開発し、日本で治験中

ブレインテックでの先駆的取り組みの経験を糧に、 アプリを使った治療を実現するDTxに挑戦

- ・ブレインテックでアプローチできる可能性の高い中枢神経系の病気をターゲットに
- ・エビデンスを積み重ね、医療機器プログラムとしての承認、保険償還へ
- ・製薬企業とパートナーシップを結び、病院やクリニックでの提供を目指す



慢性疼痛

てんかん

認知症

パーキンソン病

うつ病

ALS

独自技術を有する投資先に厳選、手厚いインキュベーションサポートを実施、
IPO実現までしっかり並走する支援で高いIPO実現率を誇る

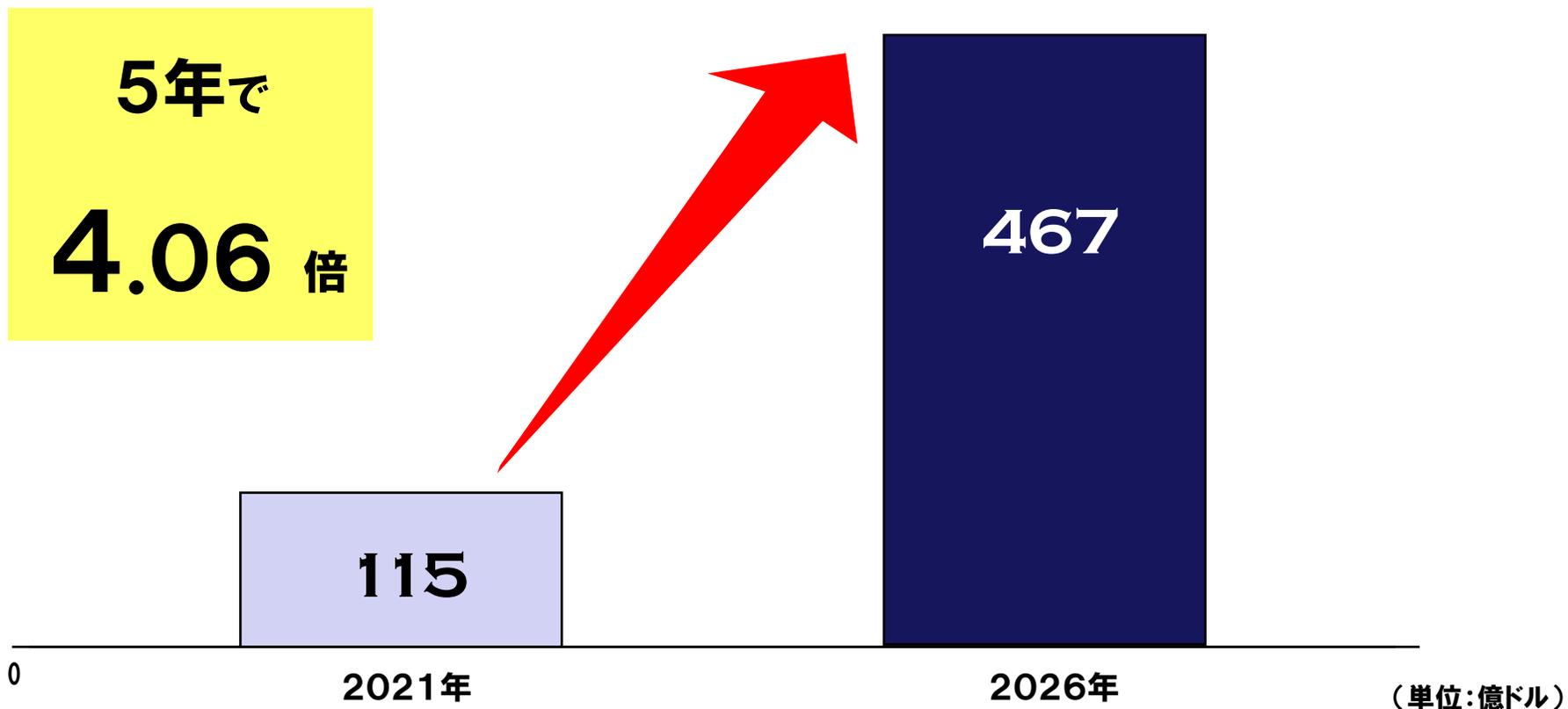


2022年までにIPO 6社 バイアウト 1社を実現

**Media
Seek**

Ⅲ. 市場環境・成長戦略

世界のデジタル教育市場（予測）



Source: Global Information, Inc. "Digital Education Market with COVID-19 Impact by End User (Academic Institutions and Enterprise and Public Sector), Learning Type (Self-paced Online Education and Instructor-led Online Education), Course Type and Region - Global Forecast to 2026"

<https://www.gii.co.jp/report/mama938892-digital-education-market-by-end-user-individual.html>

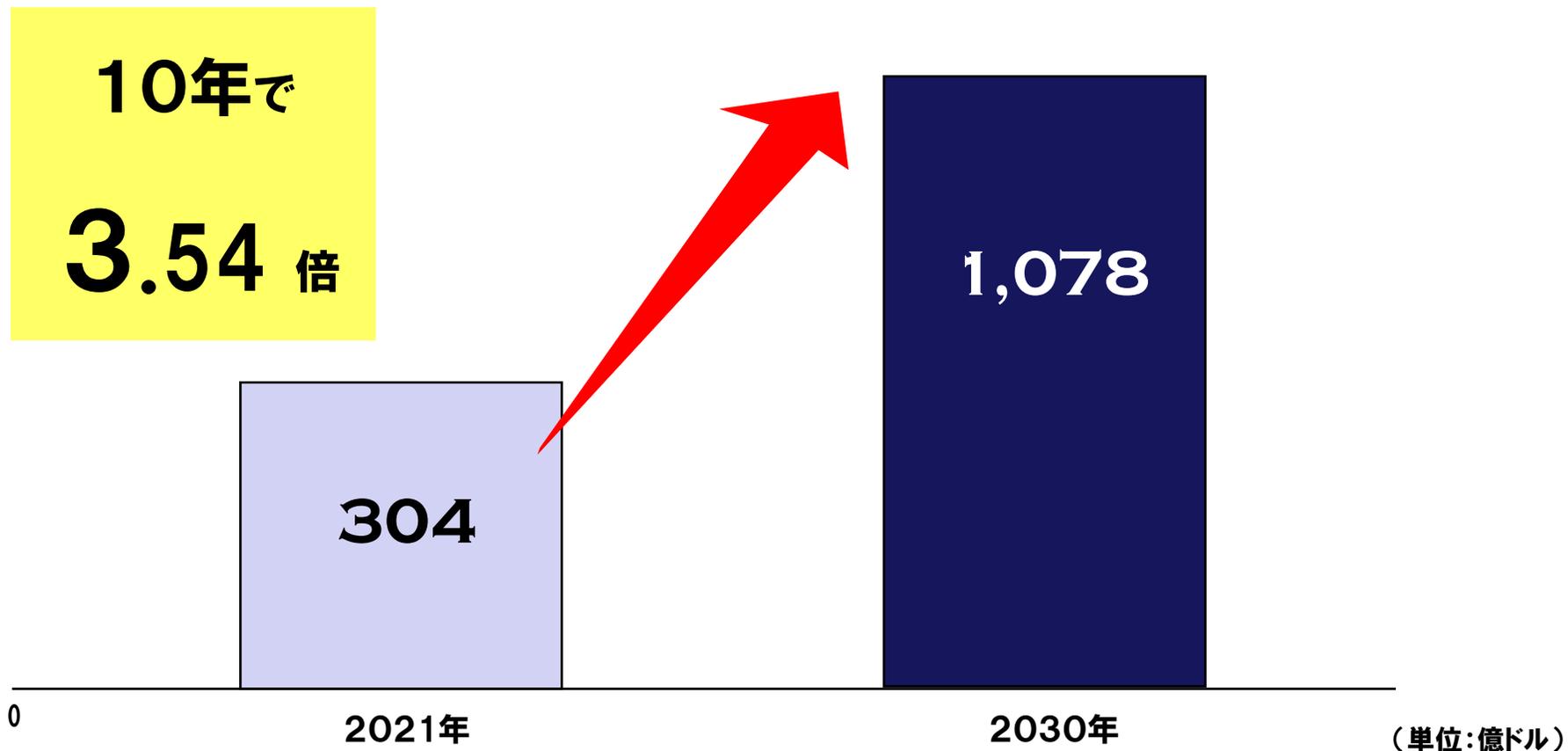
コーポレートDX

先進IT技術を活用したリモート教育プラットフォーム市場は、グローバルインフォメーション社の調査によれば、世界のデジタル教育市場の市場規模は2021年の115億ドルから2026年には467億ドルに年平均成長率32.3%で成長すると予測（※1）されており、今後も高い成長性が期待される分野のひとつとなっています。

※1 <https://www.gii.co.jp/report/mama938892-digital-education-market-by-end-user-individual.html>

20年以上におよぶ教育業界向けのIT導入推進（EdTech）の実績をベースに、近年ではサービス業・不動産業ほか各業界でDX推進が活発になってきており当社のSIサービスに対するニーズが高まってきています。クラウドからモバイルまでの多様なプラットフォームへのシステム導入経験のほか、当社グループの出資先であるRUN.EDGE株式会社（本社：東京都渋谷区、代表：小口淳、<https://www.run-edge.com/>）の提供する動画コンテンツのリアルタイム処理技術等を活用した映像技術サービスと組み合わせたソリューションを展開することで、先進リモート教育プラットフォームの構築や、あらゆる業界におけるITサービスの高付加価値化を推進していく計画です。

画像認識の世界市場（予測）



Source: Image Recognition Market, By Technology (Code Recognition, Digital Image Processing, Facial Recognition, Object Recognition), By Component (Hardware, Software), By Application, By Vertical Industry, and By Region Forecast to 2030

<https://www.reportsanddata.com/report-detail/image-recognition-market>

画像解析・AI

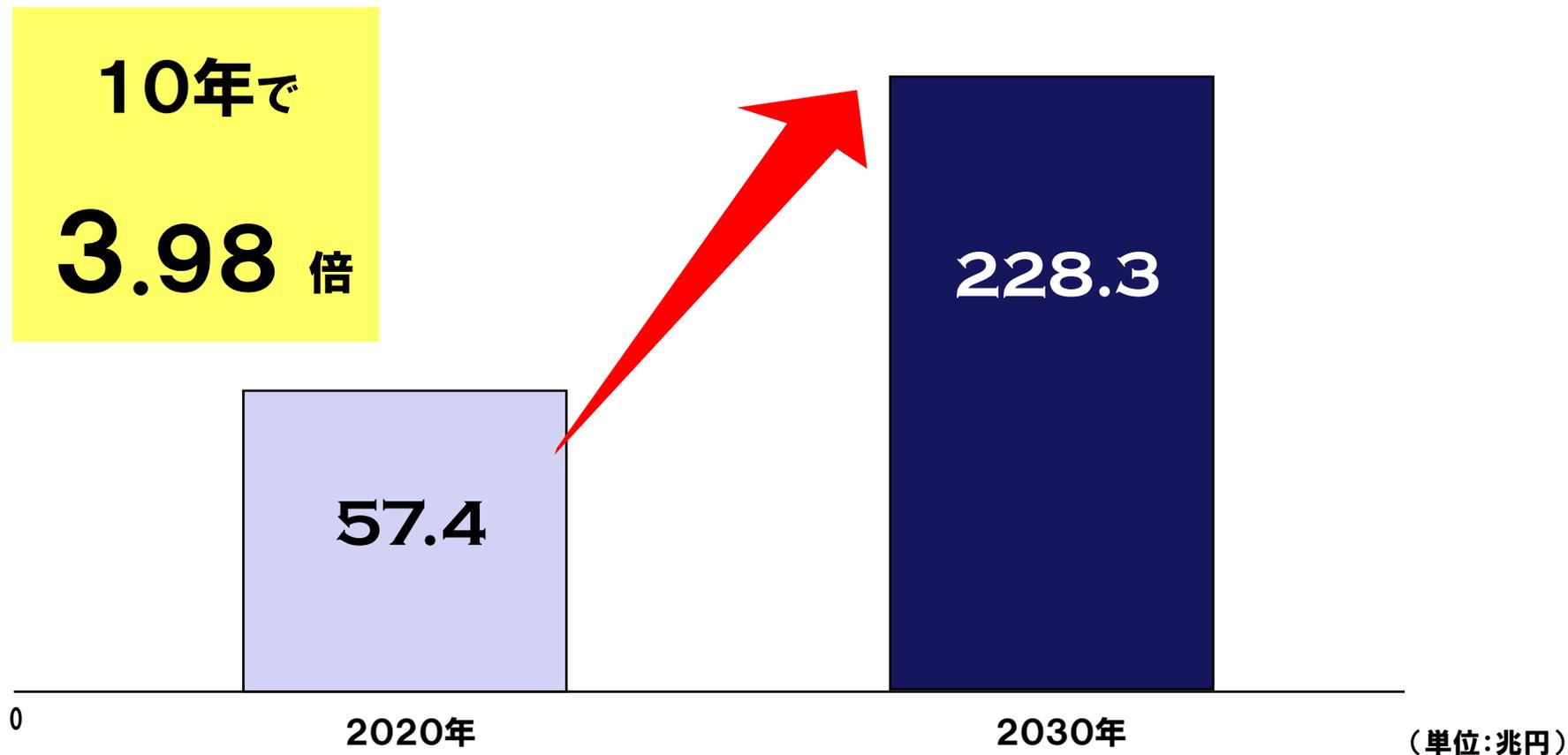
Reports and Data社によるリサーチ「画像認識市場、技術別（コード認識、デジタル画像処理、顔認識、物体認識）、コンポーネント別（ハードウェア、ソフトウェア）、アプリケーション別、垂直産業別、地域別、2030年までの予測」によれば、画像認識の世界市場規模は2021年の304億ドルから2030年には1,078億ドルに拡大すると予測（※2）されており、世界的に高い成長性が期待される分野のひとつとして認識されています。

※2 <https://www.reportsanddata.com/report-detail/image-recognition-market>

当社グループは、モバイルアプリ市場における定番アプリのひとつとして高い評価を有する「バーコードリーダー／アイコンット」のプラットフォームを基盤として、さらに高度な画像認識技術を開発し組み合わせることで、高度なカメラ機能を有する次世代デバイスに対応したIoTツールとしてさらに進化・発展させてゆく計画です。

今後、スマートフォン搭載カメラを活用した様々な画像認識サービスの投入が予測される成長市場において、既存独自技術プラットフォームのノウハウを最大限活用しつつ、新たな技術開発に継続的に取り組んでまいります。当社独自技術の市場競争力をさらに高め、独自技術に基づくサービス基盤をさらに進化・拡大させるための研究開発を強化・拡大してゆく予定です。

世界のITリモート市場の需要額見通し



Source: 電子情報技術産業協会 (JEITA)

<https://www.jeita.or.jp/japanese/topics/2020/1216-2.pdf>

ライフスタイルDX

電子情報技術産業協会(JEITA)による市場予測(※3)によれば、ITリモート市場の世界需要が年平均14.8%で拡大し、2030年には全世界で228.3兆円、中核となるソフトウェアによるソリューションサービスだけでも2030年に143兆円規模となる見通しが公表されています。

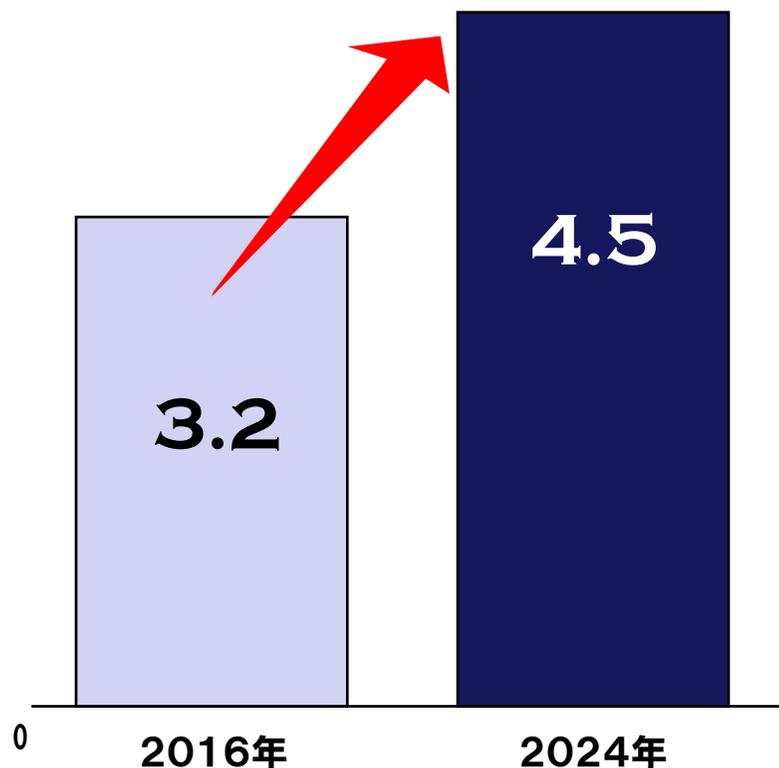
当社グループが力を入れている教育分野では2020年の世界市場で2.4兆円の需要が2030年に12.1兆円に、エンタメ・スポーツ分野では2020年の世界市場で、6.9兆円の需要が2030年に19.0兆円へと、それぞれ順調に市場規模が拡大していく事も併せて公表されております。

※3 <https://www.jeita.or.jp/cgi-bin/topics/detail.cgi?n=4091&ca=1>

当社グループは、今後もネットワークを活用したリモート市場のが拡大していく事を想定し、まずは主に日本国内向けに、EdTech、FanTech、HealthTechの3つのテクノロジーを中心にDX化を促進し、ライフスタイルに欠かせないサービスを提供していく方針です。高い成長性が期待されるITリモート市場のさらなる進化にあわせ、当社独自技術を活用したプラットフォームを開発・提供する予定です。

ブレインテックの世界市場予測

(単位:兆円)

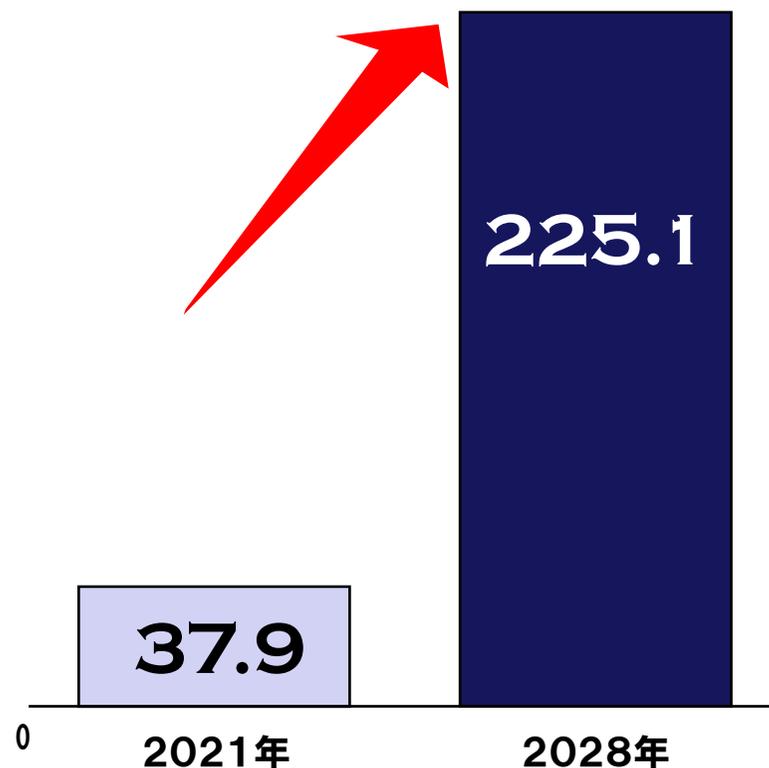


Source: 三菱総合研究所

<https://www.mri.co.jp/knowledge/column/20180720.html>

DTxの世界市場予測

(単位:億ドル)



Source: グローバルインフォメーション

<https://www.gii.co.jp/report/smrc1054126-digital-therapeutics-dtx-market-forecasts-global.html>

ブレインテック・DTx

ブレインテック市場は、三菱総合研究所の試算によれば2024年には5兆円規模になるとの予測（※4）がされております。また、DTx市場は、グローバルインフォメーション社のレポートデータ（※5）によると、2021年の37億9,000万ドルから2028年には225億1,000万ドルに達すると予測され、きわめて成長性の高いビジネス分野のひとつと考えられます。

※4 <https://www.mri.co.jp/knowledge/column/20180720.html>

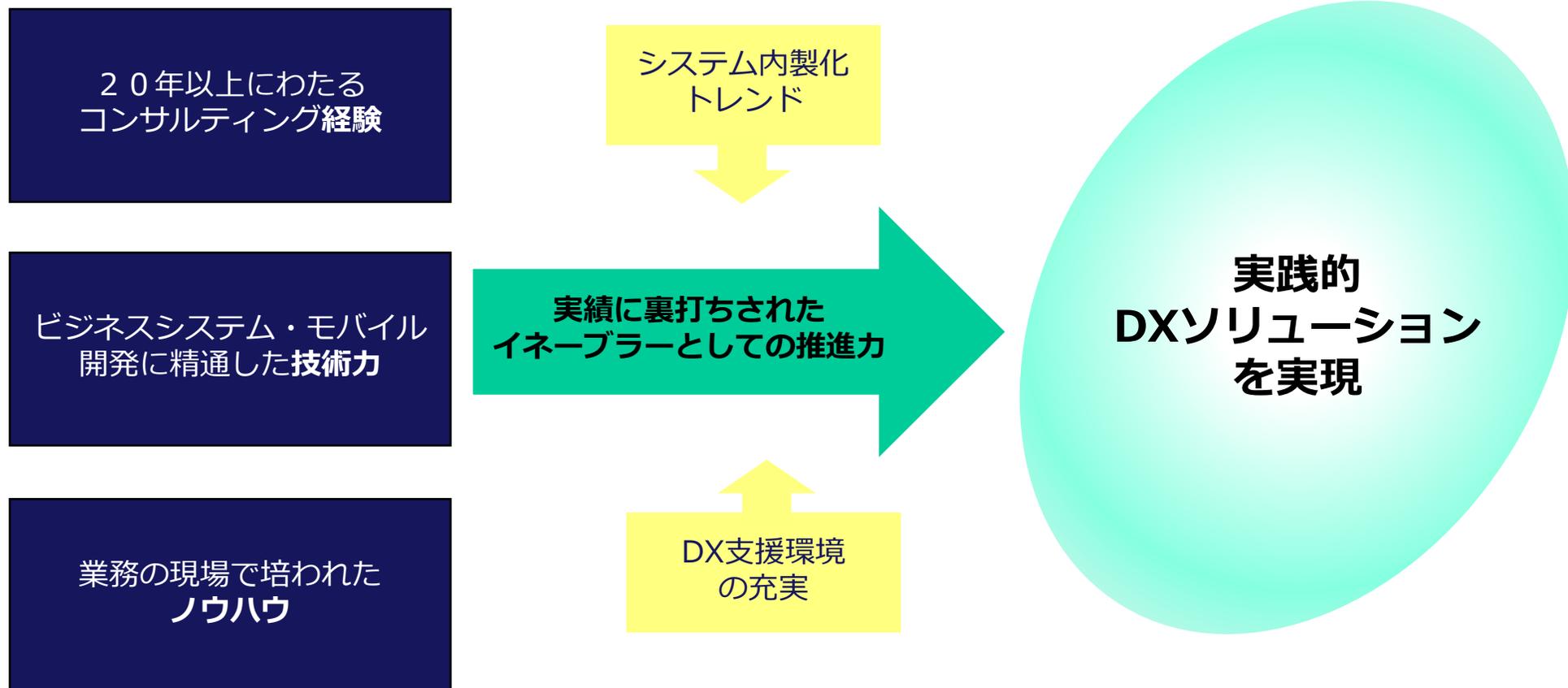
※5 <https://www.gii.co.jp/report/smrc1054126-digital-therapeutics-dtx-market-forecasts-global.html>

当社グループは、2022年に医療機器製造業者として東京都に登録され、医療機器プログラム(治療用アプリ)の開発・設計・製造といったサービスの提供が可能になりました。国内外で活発化しているDTx領域において、過去のアプリ開発実績を活かし、ユーザビリティにおいても優れた治療用アプリの開発サービスを提供してまいります。

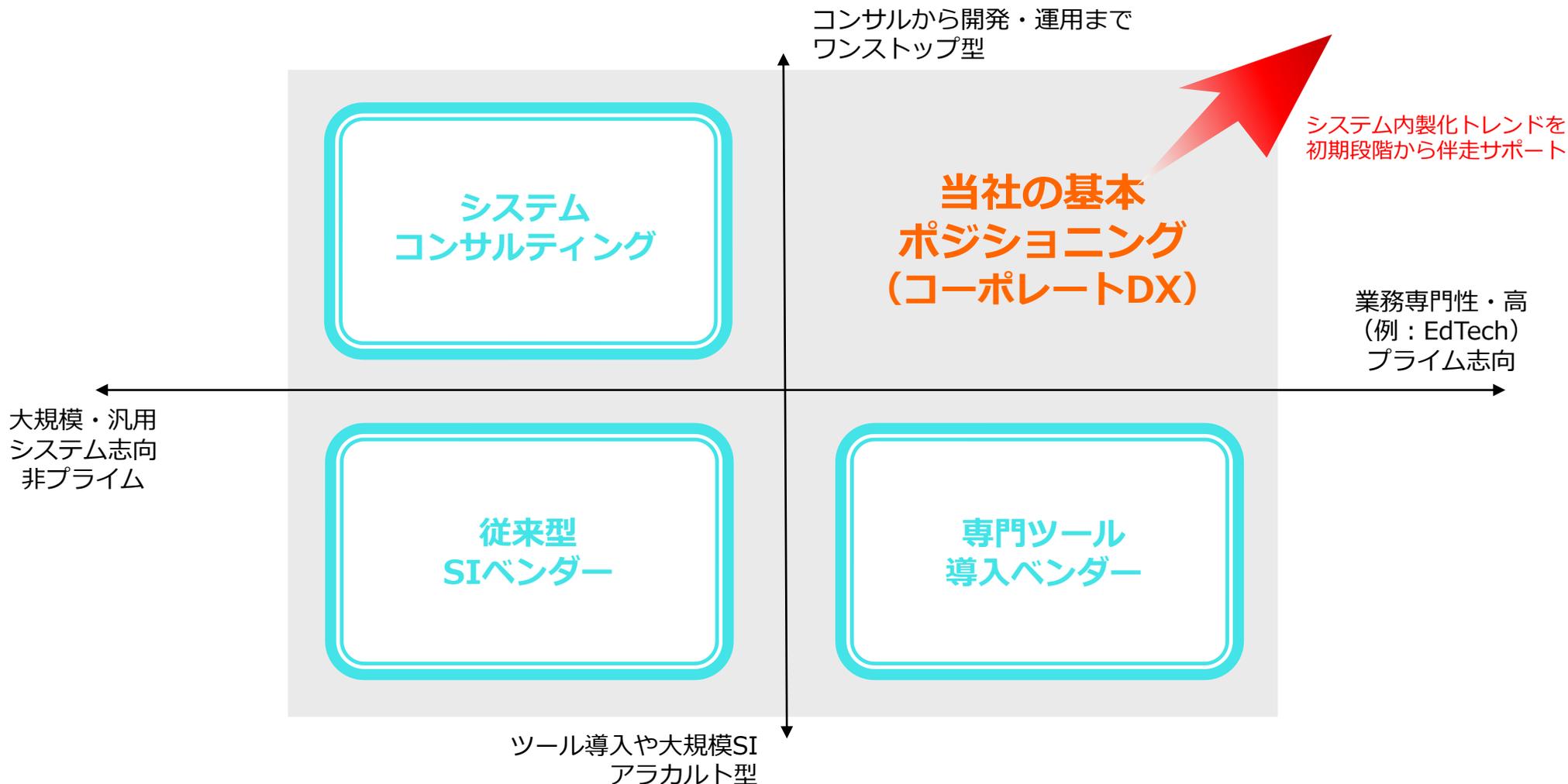
また最近ではテレビで多く取り上げられるなど注目を集めるブレインテックに、当社グループは2017年より取り組んでまいりました。今後、ブレインテック分野におけるさらなるエビデンスの蓄積と事業開拓のための投資を進めてゆく計画です。大学医学部や製薬会社等とのアライアンスを強化し、治療用アプリの薬事承認と保険収載に向けてビジネス拡大を目指してまいります。

実績と経験に裏打ちされた技術力・コンサルティング能力 実践的DXソリューションを実現するイネーブラーとしての能力をさらに研鑽

当社サービスの強み



EdTechなど高い専門性+上流から下流までワンストップ対応
→企業のシステム内製化を初期段階から伴走サポート



「アイコニット」は提供開始から「10周年」
 画像認識エンジンの圧倒的性能 × 定番アプリとしての浸透力
 次世代IoTプラットフォームへの進化に向けさらなる機能強化へ

簡単！便利！
 4つの読み取りモードを
 ワンタッチで切替えられる！



いろいろな
 読取モードを
 ワンタッチで

ICONIT
 アイコニット

添付文書の表示
 医薬品のバーコードを読み取り後
 履歴からいつでも確認できる！



くすりの
 しおりに
 簡単アクセス！

QR/バーコードを読み取るだけで
 楽天ポイントが
 毎日もらえる！



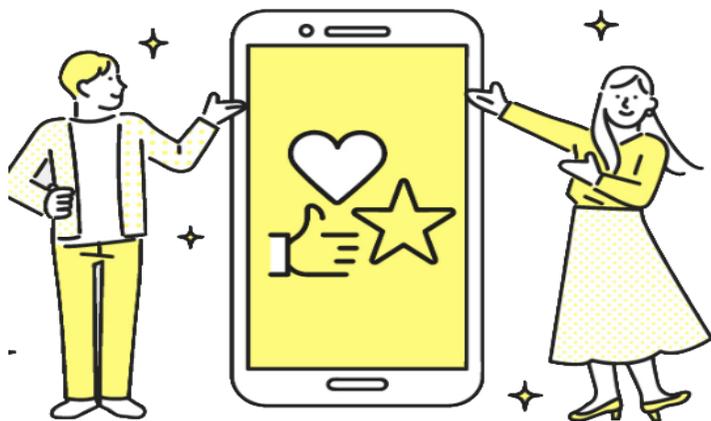
R
 POINT

医薬系アプリ等からニーズが高い圧倒的な読み取り速度・精度の画像解析エンジンに加え、多機能+3,400万DL実績の自社アプリをベースにしたユーザープール、読取データから次世代IoTプラットフォームを目指し、新たな価値あるサービス創出を目指す



EdTech x FanTech x HealthCare、映像コンテンツを活用したオリジナルアプリが制作可能な新プラットフォームを新たに展開

S-applico^{サブリコ}
サブスクアプリ開発



デジタルコンテンツ配信アプリ
開発プラットフォーム

サブスク収入＋広告収入で安定したマネタイズ

開発から運営までワンストップでフォロー

マイクラス、マイクラスリモートを中心としたリカーリングサービスのノウハウを元に収納代行業者2社と協業し新たなサービスを開発中

**Media
Seek**



WEB決済代行業者



後払い決済代行業者

【特徴1】 カード月額課金＋未収金自動後払いにより運営側回収リスクゼロの新型サービス

【特徴2】 月額利用料＋カード決済手数料の2重売上モデル

【特徴3】 自社営業＋代行業者各社のプロモーションルート

2022年末サービス開始予定

ブレインテック先駆者としての実績・ノウハウをDTx領域に展開、
ニューロフィードバックのスペシャリストとして先進DTxアプリ構築へ



ブレインテック・DTxにおける
治療用アプリの研究・開発

オープンイノベーションによるDTx事業

メディアシークは、脳神経科学とITを融合させるブレインテックに長く取り組んできました。その中で培ってきた、脳の状態を整えるニューロフィードバックという技術を活用し、事業パートナーと提携してDTxの領域で事業展開しています。

特に薬での治療が難しいとされる慢性疼痛(腰痛)やうつ病、認知症といった中枢神経系の病気を中心に、治療用アプリの自社開発を行っていきます。

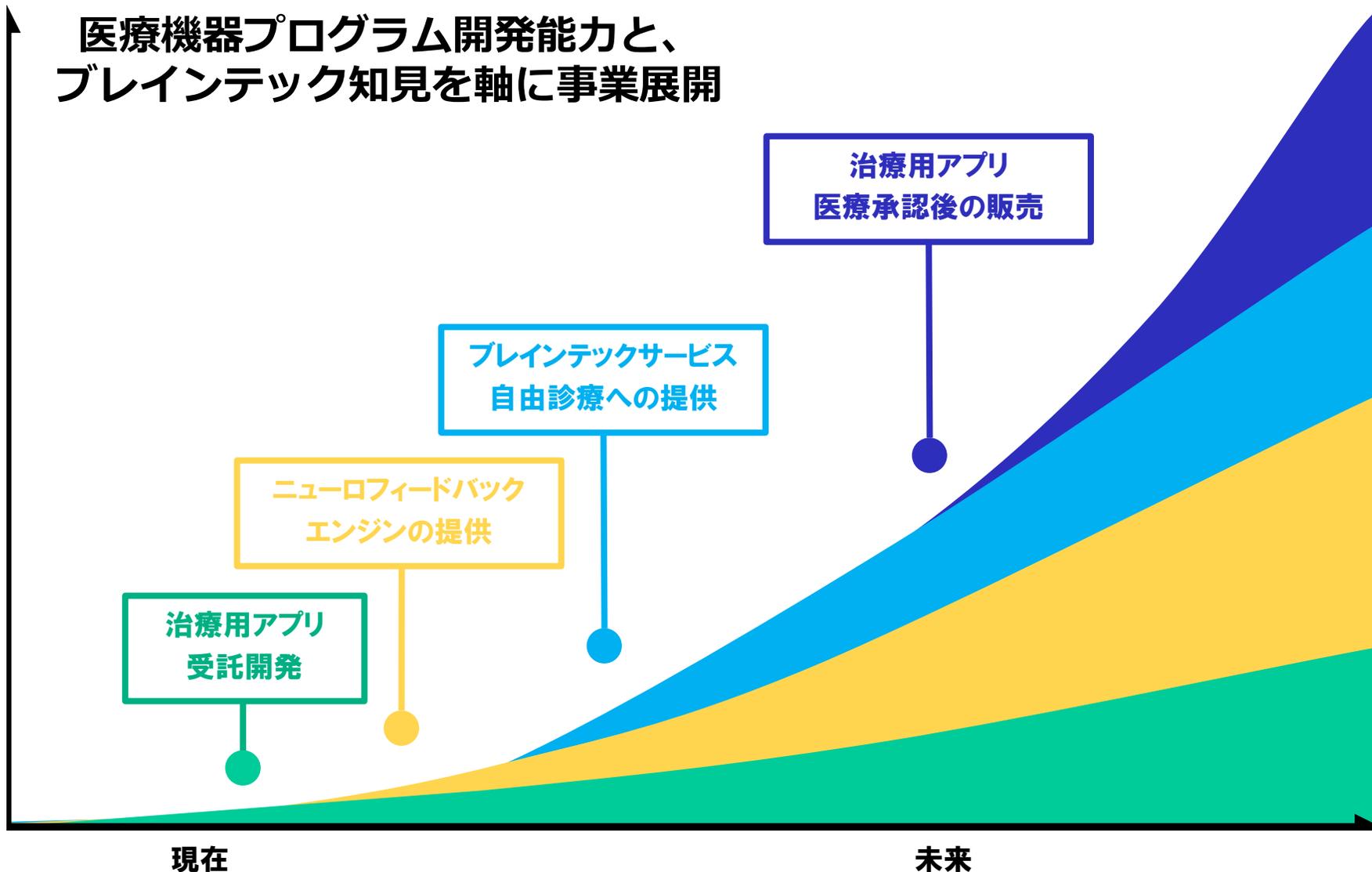
製薬企業、医療機器製造メーカー、大学病院とも積極的に連携 オープンイノベーション型の共同事業を推進

	研究・開発	探索的試験 (PoC)	検証的試験	承認・販売	開発パートナー
慢性疼痛	▶				製薬企業A 千葉大学
軽度認知症 スクリーニング	▶				デバイス製造 メーカーA
うつ病	▶				大学病院A

慢性疼痛では、千葉大学医学部附属病院痛みセンターにて行われた、ニューロフィードバックを用いた研究の論文を公開

軽度認知症についても研究・開発と並行して臨床研究を行うために大学病院と提携を進める

医療機器プログラム開発能力と、
ブレインテック知見を軸に事業展開



大学病院との連携：慢性腰痛治療におけるニューロフィードバックの 治療効果を検証した研究論文を発表

scientific reports

[Explore content](#) ▾ [About the journal](#) ▾ [Publish with us](#) ▾

[nature](#) > [scientific reports](#) > [articles](#) > [article](#)

Article | [Open Access](#) | [Published: 25 August 2022](#)

New treatment strategy for chronic low back pain with alpha wave neurofeedback

[Keisuke Shimizu](#) , [Kazuhide Inage](#), [Mitsuo Morita](#), [Ryota Kuroiwa](#), [Hiroto Chikubu](#), [Tadashi Hasegawa](#),
[Natsuko Nozaki-Taguchi](#), [Sumihisa Orita](#), [Yasuhiro Shiga](#), [Yawara Eguchi](#), [Kazuhiko Takabatake](#) & [Seiji
Ohtori](#)

[Scientific Reports](#) **12**, Article number: 14532 (2022) | [Cite this article](#)

845 Accesses | [Metrics](#)

投資先企業のIPO実現によるキャピタルゲイン等により、純資産は大きく拡大
さらなる成長に向け体制を強化して取り組み

直近のキャピタルゲイン獲得事例



株式会社Link-U

2019年7月上場

純資産寄与額 約5.9億円



株式会社デリバリーコンサルティング

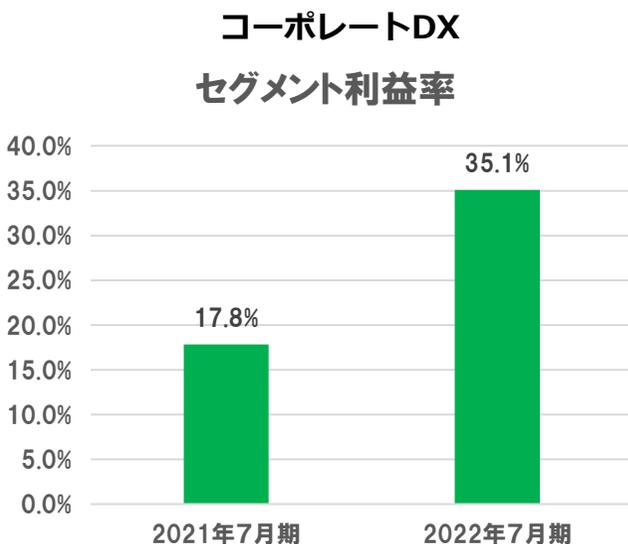
2021年7月上場

純資産寄与額 約8.9億円

※) 純資産寄与額は2022年7月期末時点の税効果適用後の金額を記載しております。

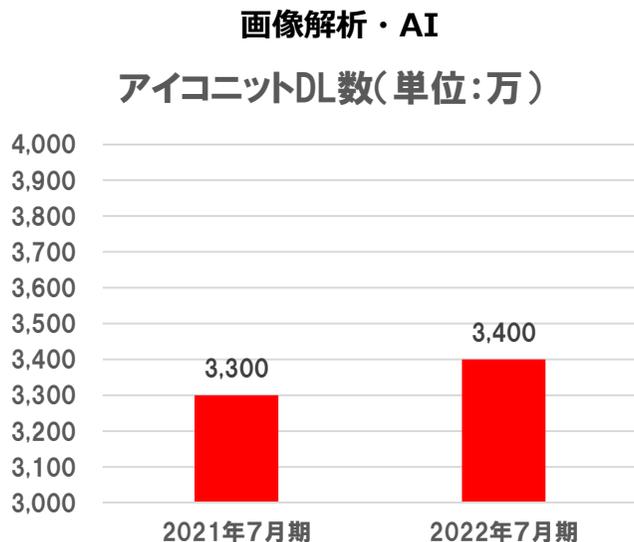
II-3. 経営指標

経営指標



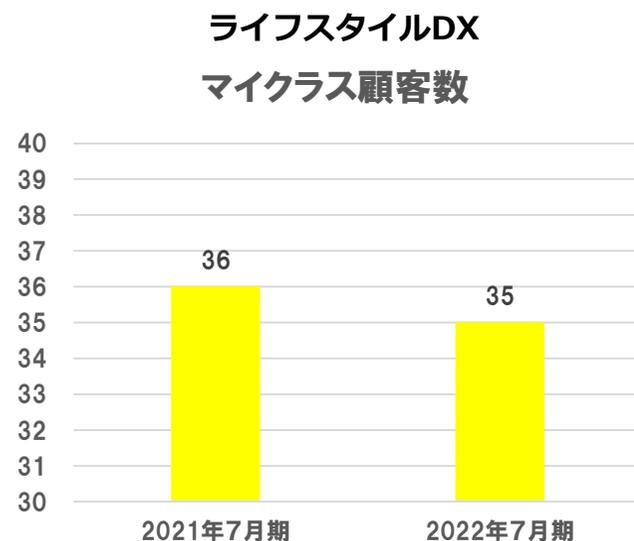
コーポレートDXでは、効率的に開発が実行されているかどうかが必要となるため、セグメント利益率を経営指標としております。

工数管理の更なる徹底や、機動的で効率的な人員配置を実現したことにより、2022年7月期は前期比でセグメント利益率が大きく増加致しました。



画像解析・AIでは、主力製品である「バーコードリーダー/アイコンitt」のダウンロード数を経営指標としております。

2022年7月期は堅調にダウンロード数が増加したことにより、前期比でダウンロード数が増加しております。



ライフスタイルDXでは、主力製品である「マイクラス」の導入クライアント数を経営指標としております。

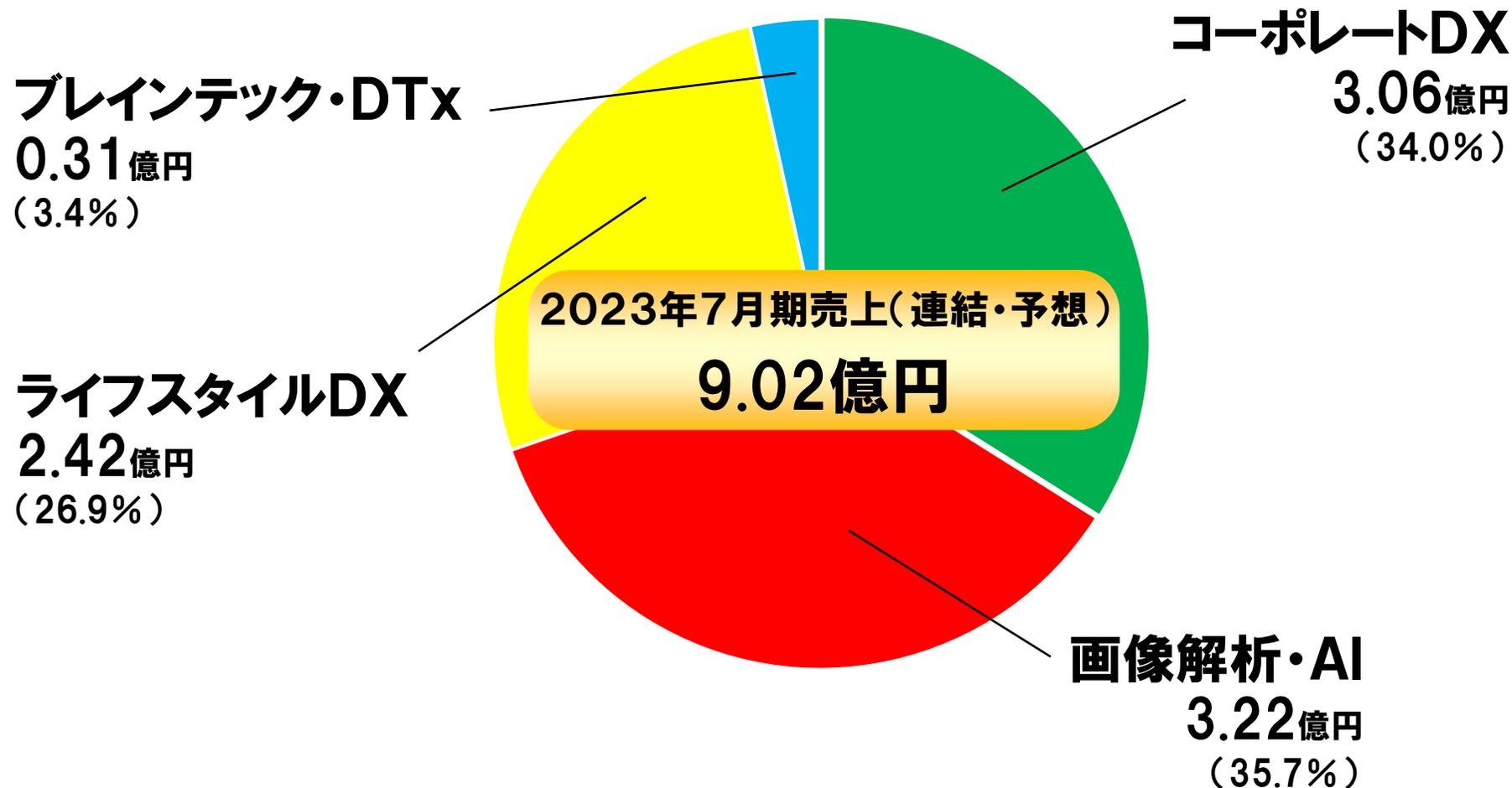
新規にクライアントを獲得した一方で、新型コロナウイルスの影響等により一部のクライアントでカルチャースクール運営自体を廃止する事態も生じ、2022年7月期は前期比で微減となりました。

**Media
Seek**

IV.事業計画

IV-1. 2023年7月期業績予想

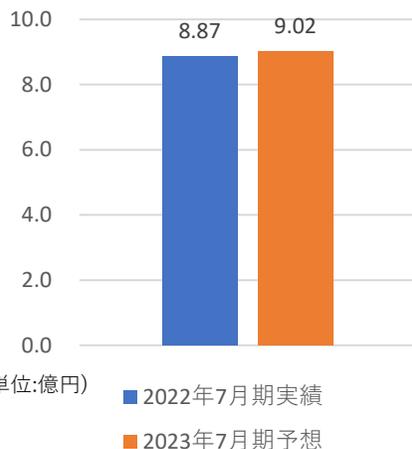
2023年7月期 業績予想 (売上見通し)



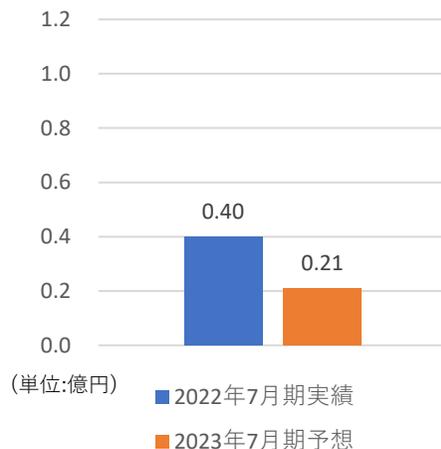
IV-1. 2023年7月期業績予想

2023年7月期 業績予想

売上高



営業利益



経常利益



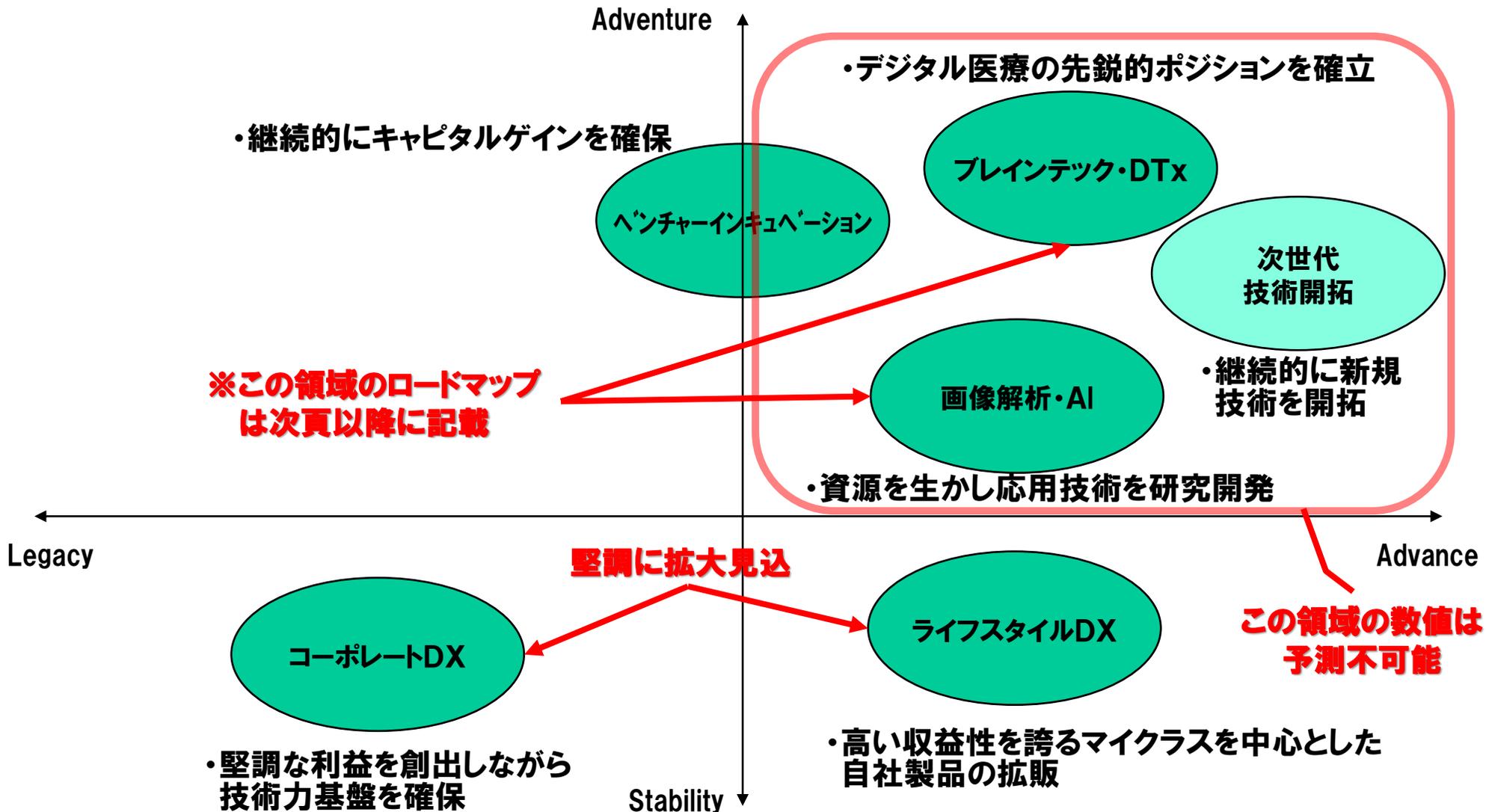
親会社株主に帰属する当期純利益



- ・2023年7月期は、将来に向けた利益確保のための投資期間の位置付け
- ・社内外のリソースを積極的に投資するため、利益については前期比減少見込
- ・画像解析・AIは、次世代IoTプラットフォームへの進化に向け機能強化を目指す
- ・ブレインテック・DTxは、治療用アプリの自社開発に向けた積極的な研究開発活動を実施

IV-2. 2023年7月期以降の展望

・既存事業を育成しながら、新規技術領域に積極的に投資を行う。



IV-2. 2023年7月期以降の展望

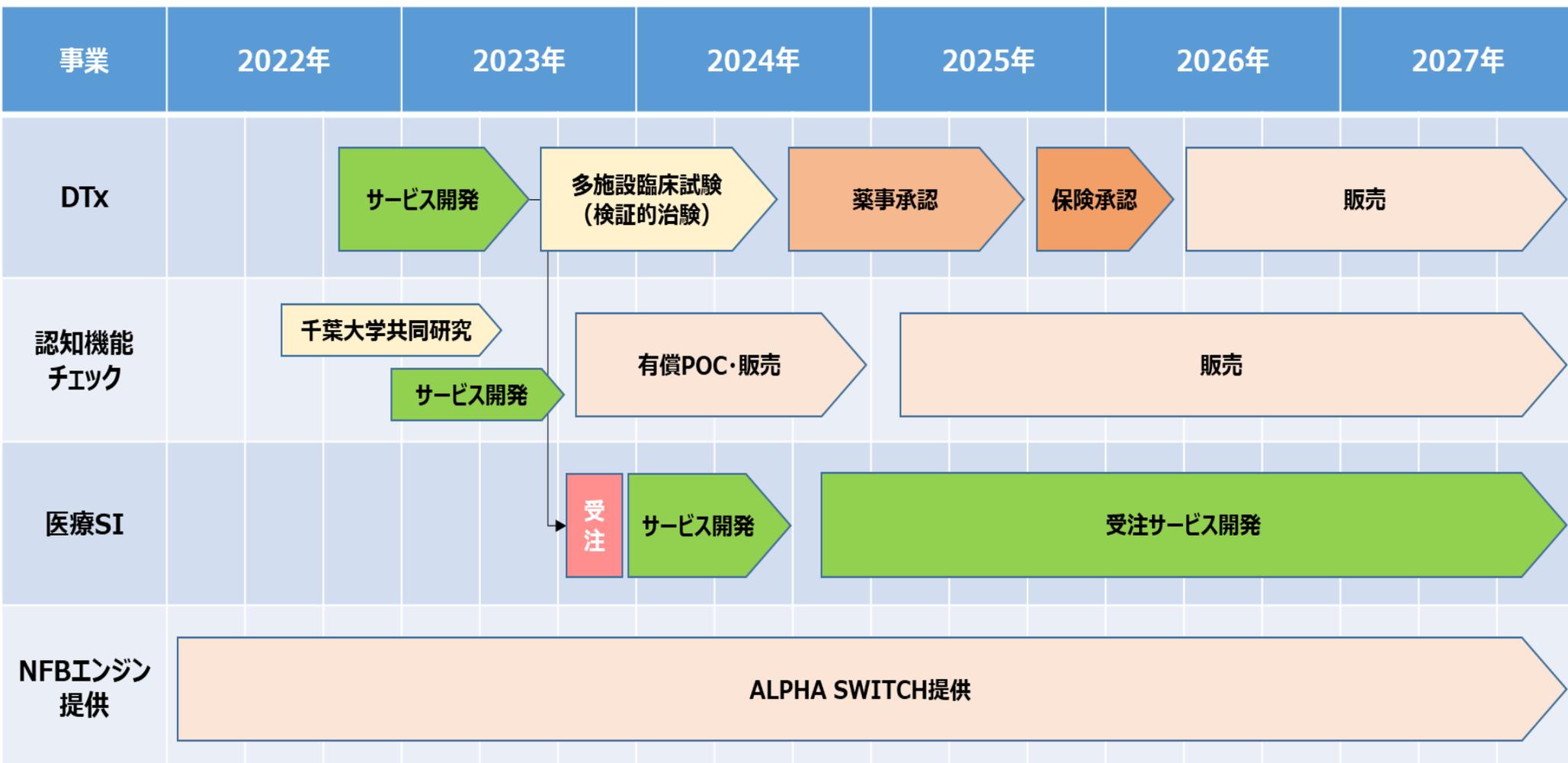
画像解析・AI



※)上記ロードマップは、現時点での計画であり、実際の進捗は当該内容と異なる結果となる可能性があります。

IV-2. 2023年7月期以降の展望

ブレインテック・DTx



- ※) 上記DTxは、35ページに記載の通り慢性疼痛等の分野での展開を目指しております。
- ※) 「多施設臨床試験」及び「有償POC」については、提携先との契約スキームによって多額の費用が発生する可能性があります。
- ※) 上記ロードマップの想定のもと、受注・販売が本格化する2025年7月期を目途に本格的な収益化を目指します。
- ※) 上記ロードマップは、現時点での計画であり、実際の進捗は当該内容と異なる結果となる可能性があります。

**Media
Seek**

V.リスク情報

V-1. 認識する主なリスク

有価証券報告書に記載の「事業等のリスク」のうち、当社の業績や事業計画に重要な影響を与える可能性がある主なリスク

リスクの内容	対応策
<p data-bbox="99 549 457 632">法的規制に関するリスク</p> <p data-bbox="540 489 1493 793">現時点では、当社グループの主たる事業を直接的に制限するような法的規制は存在しないと考えております。ただし、法的規制による当社グループの事業への間接的な影響の可能性について専門家の意見書は得ておりません。今後、当社グループの事業を直接的もしくは間接的に制限する法的規制がなされた場合には、当社グループの事業展開は制約を受け、当社グループの経営成績その他に重大な影響を及ぼすおそれがあります。また、当社グループの出資先企業の活動に関する規制環境に大きな変化が生じた場合にも、当該出資先企業の市場価値の低下等により、当社グループの経営成績その他に重大な影響を及ぼすおそれがあります。 顕在化の可能性/時期： 中/中長期</p>	<ul data-bbox="1535 586 1980 696" style="list-style-type: none">・ 法的規制動向に関する情報の収集・ プレインテック・DTx分野に対する法的規制やその影響について専門家にサポートを依頼
<p data-bbox="99 986 457 1069">システムダウンに関するリスク</p> <p data-bbox="540 926 1493 1189">大規模災害やその他要因によって当社グループの情報配信システムに障害が発生した場合、もしくは通信インフラの基盤となる主要な通信事業者の提供するクラウドサービスプラットフォームやネットワーク等においてシステムダウン等の障害が発生した場合には、当社グループの事業が悪影響を受ける可能性があります。当社グループのサーバシステムがハッキングの対象となりシステム障害が引き起こされる可能性もあります。これらの障害の影響が大きい場合、もしくは障害の影響が長期にわたる場合には、当社グループ全体の業績に悪影響が及ぶ可能性があります。 顕在化の可能性/時期： 中/常時</p>	<ul data-bbox="1535 1008 1980 1146" style="list-style-type: none">・ システムの運営に実績のある事業者及びサービスプラットフォームの選定・ 障害発生時に影響を最小限に抑えるための冗長化やリカバリーを重視したシステム構成の採用

V-1. 認識する主なリスク

有価証券報告書に記載の「事業等のリスク」のうち、当社の業績や事業計画に重要な影響を与える可能性がある主なリスク

リスクの内容	対応策
<p data-bbox="99 549 466 678">新型コロナウイルス感染症の影響に関するリスク</p> <p data-bbox="538 485 1491 756">従業員等が感染した場合や、自粛・休業要請があった場合等には、感染拡大防止のために事業活動が制限されるリスクがあります。また、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化した場合には、景気が減退し、当社の事業に影響を及ぼすリスクがあります。具体的には、顧客の経営状況や消費者心理の悪化によるIT設備投資の抑制及び先送りによる新規受注案件の減少及び既存案件の規模縮小等のリスクが想定されます。また、インターネット広告や各種オンラインサービスの市場動向にも影響が生じる可能性があります。</p> <p data-bbox="942 721 1336 756">顕在化の可能性/時期： 中/短期</p>	<ul data-bbox="1522 564 1958 714" style="list-style-type: none">・従業員の衛生管理を徹底・リモートワーク環境の整備・オフピーク通勤の推進・感染状況にあわせ出張や各種イベントを中止・見直し
<p data-bbox="99 978 466 1071">人材の確保と定着化に関するリスク</p> <p data-bbox="538 921 1491 1192">今後の事業拡大には、当社グループがターゲットとする先駆的な分野での知識と経験を有する人材の確保が極めて重要です。当社グループは当該分野でのスキル・経験を有するエンジニアやスペシャリストの採用拡大を予定していますが、近年は優秀な人材の確保が難しくなっている状況です。当社グループは、優秀な人材の確保を進めてゆく方針ですが、いずれも継続的な人材の確保を保証するものではありません。適格な人材を十分に確保できなかった場合には、当社グループの事業拡大に制約を受ける可能性があります。</p> <p data-bbox="942 1156 1336 1192">顕在化の可能性/時期： 中/常時</p>	<ul data-bbox="1522 999 1958 1149" style="list-style-type: none">・積極的な採用活動・フラットな組織構造や、ストックオプションを含む柔軟な報酬プログラム・新卒者の採用と育成・地方在住技術者の活用・積極採用

V-1. 認識する主なリスク

有価証券報告書に記載の「事業等のリスク」のうち、当社の業績や事業計画に重要な影響を与える可能性がある主なリスク

リスクの内容	対応策
<p data-bbox="99 549 459 632">新規事業への投資に関するリスク</p> <p data-bbox="540 486 1493 793">当社グループは、ブレインテック・D T xや画像解析・A Iをはじめ、市場成長の可能性のあるビジネス分野を中心に、成長性等見極めたうえで引き続き積極的に事業への投資を進めていく方針です。当該新規事業への投資は中長期的に当社グループの成長に重要な貢献を果たすものと考えておりますが、新規事業への投資が予定通りに拡大する保証は無く、また、予定通りに進まなかった場合や不測の事態が生じた場合に、その影響が限定的な範囲に収まる保証はありません。新規事業等を取りまく環境に大きな変化が生じた場合や不測の事態が生じた場合、当社グループの経営成績に重大な影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p data-bbox="996 768 1404 793">顕在化の可能性/時期： 中/中長期</p>	<ul data-bbox="1535 586 1984 696" style="list-style-type: none">・継続的に計画を確認・見直しの上、随時投資要否を決定・新規事業等を取りまく環境等に関する積極的な情報収集

その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」に記載しております。

**Media
Seek**

Appendix



2021年8月1日に改正薬機法が施行され、医薬品製造販売業者は医薬品等の最新情報を速やかに提供するため、医薬品等に同梱していた添付文書（添文）を電子化・紙の添文は原則廃止されることになりました。これは世界的な取り組みであるSDGs(持続可能な開発目標)に沿った施策でもあります。

医療用医薬品のパッケージ（錠剤の包装フィルムや外箱）には、「GS1データバー」という規格に基づいたバーコードが印刷されています。「GS1データバー」にはいくつか種類があり、その一つである「GS1データバー限定型」は、錠剤の包装フィルムに広く使われています。2021年12月、「アイコンニット」の新機能として、「GS1データバー限定型」のバーコードから読み取った医療用医薬品の情報に基づいて、PMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）が提供している「一般向け関連文書」「医療従事者向け文書」「添付文書」へのスムーズなナビゲーションを提供開始しました。また、「一般向け関連文書」のリンクから「くすりのしおり®」を見ることがもできます。

新機能

くすりのしおりに簡単アクセス!

添付文書の表示

医薬品のバーコードを読み取り後履歴からいつでも確認できる!

ICONIT
アイコンニット

読み取り

0104987376616256

一般向け関連文書を表示する

医療従事者向け文書を表示する

添付文書を表示する

コピー

シェア

2021年のスマートフォンアプリダウンロード数が前年比15%拡大したベトナム※1の他、新興国を中心にスマートフォンアプリの市場は全世界的に拡大を続けています。2022年5月に提供を開始した「アイコンittLite」のアプリ内言語はヒンディー語、英語、中国語（簡体字）、タイ語、ベトナム語など、12言語に対応。言語の他、アプリ内の色設定も11色から選択、自由に切り替えができます。独自開発したQR/バーコード読み取りエンジン「Camreader」を搭載、圧倒的な読み取り速度・精度は世界市場でも評価されています。

※1 data.ai(旧app annie)が2022年1月に発表した「モバイル市場年鑑2022」より



2022年2月に提供開始から10年を迎えた「アイコニット」の読み取り総数が10億回を超えたことを記念して、2012年～2021年の各年間読み取りデータBest10を発表しました。

QRコードで圧倒的に読み取り回数が多いのは「テレビ」画面で紹介されたQRコードです。フジテレビ「めざましじゃんけん・データ放送プレゼント」のQRコードは、2013年から9年連続でTOP10入りを果たしています。宅配、郵便の再配達、外食で利用できるクーポン、プレゼントキャンペーン参加用のQRコードも常に上位にランキングされています。また、2020年、2021年には新型コロナウイルス感染拡大と関連するQRコードがランクイン、世相を表す結果となっています。JANコード（商品バーコード）で読み取り回数が多いのは「飲料」、「ティッシュ」の2カテゴリーでした。

ICONIT
読み取りデータランキング（年間）
2012年～2021年

2022年2月に提供開始から10年を迎えた「QRコード/バーコードリーダー「アイコニット」*これまでのバーコード読取総数が10億回を超えたことを記念して、2012年～2021年の各年間読み取りデータBest10を発表します！

2022年1月以降の
月間読み取りランキングはこちら

2021年

**2021年/年間読み取り数
ランキング**

QRコード

1位	めざましじゃんけん データ放送プレゼント - フジテレビ
2位	クイック設定Webページ
3位	LINEで郵便局 日本郵便株式会社
4位	*当たり付き*ジョージア 応募ページ (赤タブ以外製品)

ICONIT
月間 読み取りデータランキング
2022年1月～

2022年2月に提供開始から10年を迎えた「QRコード/バーコードリーダー「アイコニット」*で読み取られたQRコード、JANコード（商品バーコード）のtop10をご紹介します。(毎月10日頃に更新)

2012～2021年の
年間読み取りランキングはこちら

2022年3月

**2022年3月/月間読み取り数
ランキング**

QRコード

1位	めざましじゃんけん データ放送プレゼント - フジテレビ
2位	郵便局[ぼすくま]LINE友達追加
3位	Tポイント継続利用のお手続き
4位	クイック設定Webページ
5位	【公式】TカードPrime - Tポイント会員限定キャンペーン
6位	お買い物に便利なアプリ Tポイントアプリ



マイクラスは、今まで蓄積された運用ノウハウを元に
 スクール管理／運営に必要な機能をすべて網羅しています！

- 最短で当日中に担当からご連絡します！
- IT導入補助金にも対応！ 月4万円から。
- 稼働実績、導入店舗数No.1！
- カスタマイズも可能！



クラス・講座管理



生徒・会員管理



講師管理



スケジュール・予約管理



給与管理

あらゆる業態に対応し、
 ニーズに合わせたカスタマイズも可能です。



カルチャースクール >



テニススクール >

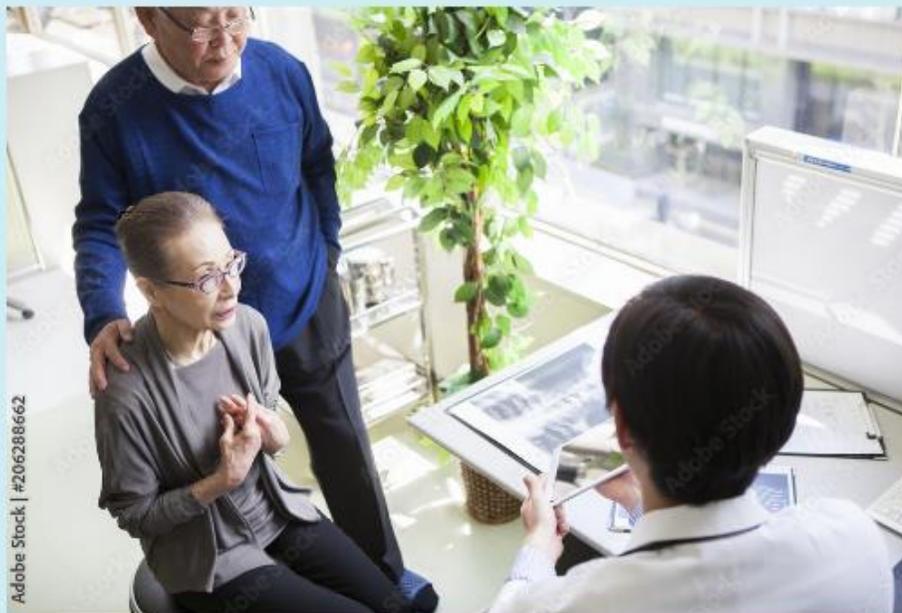


語学スクール・学習塾
 大学公開講座 >



フィットネスジム >

プロジェクト紹介：ブレインテック技術を活用した軽度認知症の早期発見の可能性を研究しています。



軽度認知症の スクリーニングプロジェクト

認知症は日本において最も大きな社会課題の1つであり、内閣府が2030年には認知症患者が700万人以上になると試算している通り、これから患者数が増えていく病気です。

まだ根本的な治療法は確立されていないため、症状が軽い軽度認知症を早期に発見することが重要です。

メディアシークはこの早期発見のために、デバイスを開発している製造メーカーと提携して、ブレインテック技術を活かし脳の反応から軽度認知症をスクリーニングするサービスの研究・開発を行っています。

本資料の取り扱いについて

- 本資料及び本資料において提供される情報は、株式会社メディアシーク（以下、当社）のビジネスの現状についてご理解いただくことを目的として作成したものです。
- 本資料は、当社の事業内容に加え、当社認識に基づく現時点での予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望に関する内容を含みます。これら将来に関する情報は、様々なリスクや不確定要素に左右され、すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因により、本資料に記載の内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 本資料に含まれる将来に関する情報及び当社以外に関する情報について、当社は、その正確性、適切性等について第三者による検証を行っておらず、その内容について保証するものではありません。
- 本資料のアップデートは、株主総会開催前を目途として開示を行う予定です。